

ごあいさつ



神奈川県立高等学校 P T A 連合会
会 長 橋本 千春

令和5年度第61回神奈川県立高等学校 P T A 連合会大会が、会場参加と配信視聴参加により開催できますことに感謝申し上げます。皆さまには日頃より高 P 連の活動にご理解ご協力を賜り、役員を代表して御礼申し上げます。

本日の神奈川県立高等学校 P T A 連合会大会には、公務ご多用の中にもかかわらず、花田教育長をはじめ、神奈川県教育委員会、一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会、公益財団法人日本教育公務員神奈川支部、横浜市 P T A 連絡協議会、相模原市 P T A 連絡協議会より多数のご来賓の方々にご臨席を賜っております。心より感謝申し上げます。また、本日感謝状をお受けになる方々および団体の皆さまに対しまして、これまでの功績に改めて敬意を表するとともに、P T A 活動にお力を注いでいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

高 P 連会長といたしましては、新型コロナウイルスによる影響が和らぎ、神奈川県内の高等学校において P T A 活動が元に戻りつつあることを心から嬉しく思っております。全く活動がなくなってしまった状態から、コロナ前の活動を再開させるには、さまざまなお苦勞があったことを多くの方から伺いました。青少年の健全育成に向けた P T A 活動の再活性化が進んでいることにあたり、皆さま方の各校でのご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、高等学校では高校生への金融教育がスタートし、これからの社会でより一層必要とされるスキルを身に付ける必要性が広がっています。これは、未来を担う子どもたちに対して、よりよい準備をしていくための大切な教育の一つです。私たち保護者も金融についての知識を深め、適切な助言ができるように学んでいく必要があると思います。県大会当日の講演では、バックンマックン氏が「お金にまつわる笑撃的国際交流」と題してお話をしてくださいませ。お金というテーマは日常生活に密着しており、それが国際的な視点で笑いに繋がるというのは非常に興味深いものです。私たちが普段から感じているお金にまつわる悩みや不安について、ユーモアを交えながら考えることで、新しい気づきや視点が得られることでしょう。

私たち高 P 連も、これからの P T A 活動において、このような新しいアプローチや視点を取り入れながら地域と協力し合い、学校と保護者が一体となって成長していけるよう努めてまいります。また、情報の共有やコミュニケーションの大切さを再認識し、更なる連携を深めていくことが、P T A 活動を続けていく上で大事にしなければならないことだと強く感じています。今後も皆さまのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。引き続き、安全で充実した学校生活のために共に力を合わせてまいりましょう。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、皆さま方のご健勝と各校 P T A、学校、地区協議会のますますのご発展を祈念申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

大会来賓

神奈川県教育委員会	教育長	花田 忠雄
	生涯学習課長	信太雄一郎
公益財団法人日本教育公務員弘済会神奈川支部	支部長	井藤 直美
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会	理事長	赤松 伸一
	常務理事	反町 聡之
	常務理事	吉川 亮
	常務理事	中野真衣子
	事務局長	高尾 成弘
横浜市PTA連絡協議会	会長	東 隆幸
相模原市PTA連絡協議会	会長	中村 岳彦

広報紙コンクール審査委員

神奈川新聞社統合編集局	編成部長 兼 経営戦略本部	小野たまみ(審査委員長)
神奈川県教育委員会生涯学習課	主事兼社会教育担当主事	奈良橋 仁
神奈川県立学校長会議	高P連相談役	松本 靖史
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会	常務理事	吉川 亮
神奈川県立高等学校PTA連合会	副会長	植村 哲哉

◇第61回 県大会表彰者名簿◇

① 県知事感謝状 (※役員・理事として3年以上在任され令和4年度で退任された方)

表彰者名	役 職
吉 川 綾	前高P連副会長

② 高P連会長感謝状 (個人) (※令和4年度で退任された役員・理事)

表彰者名	役 職	表彰者名	役 職
吉 川 綾	前高P連副会長	露 木 晴 雄	前高P連理事
山 崎 浩 枝	前高P連会計	澁 谷 久 美	前高P連理事
北 浩	前高P連総務	相 澤 英 子	前高P連理事
市 村 杏 奈	前高P連総務	新 井 聡 司	前高P連理事
君 島 幸 恵	前高P連監事		
中 嶋 ル ミ	前高P連監事		

③ 高P連会長表彰 (団体) (※令和4年度理事校)

表 彰 団 体 名			
神 奈 川 県 立	元 石 川	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	横 浜 瀬 谷	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	横 浜 立 野	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	百 合 丘	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	海 洋 科 学	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	鎌 倉	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	大 磯	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	大 井	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	綾 瀬 西	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	橋 本	高 等 学 校	P T A

タイトル 「研究発表Ⅱ」

学校名 舞岡高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ

「マイタケプロジェクト」 ～変化に対応する持続可能な P T A～

はじめに

舞岡高校は、県立高校 100 校計画で新設され、来年 50 周年を迎える。舞岡の丘に建つ校舎は、自然豊かな里山に位置しており、それぞれの季節を感じることができる。本日は、生徒、学校、地域が連携して取り組んでいる「マイオカ タケノコプロジェクト」について発表する。

1 「マイオカ タケノコ プロジェクト」とは

校地の 3 分の 1 を占める竹林を活用した取り組みである。竹林の整備を、教育活動に活用している。竹林の整備だけではなく、タケノコや竹を地域活動で活用している。PTA の OB も参加し、継続した活動となっている。

2 「マイタケプロジェクト」の四季

春 整備だけでなく周辺一帯の清掃活動を行う。役員のみならず、地域の方々や P T A 役員の OB も参加する。

夏 生徒が笹竹を切り出し、地域の小学校や施設に届けている。

秋 切り出した竹で竹灯籠を作り、街を彩る。生徒主体で商店街を飾る取り組みを行い、地域での活動につながっている。

冬 伐採した竹を、近くの舞岡公園内の窯で焼き上げ、竹炭として製品化している。

3 校内活動から地域活動へ

竹を活用した取り組みとして、竹炭の配布、竹灯籠づくり、バンブースプラッシュ（水鉄砲）の作成などをし、ワークショップなどの地域イベントでも活用している。

「戸塚モディ」など、地域の商業施設ともコラボした取り組みを行っていて、生徒主体でイベントにも出店している。バンブーシェイカーづくり体験コーナーでは、多くの親子が参加した。また、コミュニティカフェでは、竹炭の配布も行った。

4 自然との共存

校内の竹林や樹木の整備は、地域の環境保全として、近隣との良好な関係づくりの面からも大切に行っている。正面玄関には桔梗がある。桔梗の花びらをモチーフにした校章は、本校の教育目標である、自律、協同、創造、開拓、実践を表している。

5 SDGs そして未来へ

本校は、「総合的な探究の時間」の指定校となっている。SDGs に関わる研究として展開し、PTA も協力して活動に取り組んでいる。竹林を整備することで、環境保全、地域づくり、情操教育、多世代交流につなげ、多くの成果をあげている。

最後に

年度ごとに P T A の委員は入れ替わる。伝統や役割に固執することなく、その時代の社会状況に合わせて変化しながら活動していくことも重要であると考えている

資料詳細はこちらから

https://drive.google.com/file/d/12CoUo9LDcZAoo-bl_FOAgcZf-e-ToUTv/view?usp=drivesdk



タイトル 研究発表Ⅱ

発表者 PTA本部(國分威志・松本あや子・狩野和枝・眞柄仁美
上野恵美・山本あづさ・花上友里子・佐藤ゆり子)

学校名 相模原高等学校

テーマ PTA活動の紹介と『神奈川県まなびや基金』の活用



1. はじめに

相模原高等学校は1964年(昭和39年)に「相模原地区の進学を担う全日制普通科高校を」という地元の要請で開校しました。2016年(平成28年)学力向上進学重点校エントリー校、2019年(平成31年)スーパーサイエンスハイスクールSSHの指定を受けました。2023年(令和5年)に創立60周年を迎えました。

「礼節・信義・根性」を校訓に、「文武両道・切磋琢磨」を開校以来のモットーに、「県相(KENSO)」の愛称で親しまれている学校です。次世代のリーダー育成に力を注ぎ、多くの卒業生が各分野で活躍をしています。



開校から60年



生徒にも親しまれる県相の愛称(写真左)



神戸国際展示場でのSSH生徒研究発表会(写真右)

2. 本校PTAの紹介

本校PTAは、県相の教育理念である「文武両道」「切磋琢磨」の達成に向けて、教職員の皆さんと緊密に連携し、幅広い活動を行っています。組織は本部と5つの常任委員会で構成され、各学年28名前後が参加しています。

[本部]

生徒達の自主性を重んじ、充実した高校生活を送れるように諸先生方と保護者が知恵と力をあわせています。過去の活動を参考に、時代にあった在り方で学校側と各委員会・全会員(保護者)の橋渡しを行います。また、県高P連の各種研修や相模原地区内の学校との情報交換や共有を通じ、各委員会との連携を行っています。



PTA模擬店 ボランティアには40数名が参加(写真左)

交通安全推進委員会による自転車点検(写真右)



広報委員会による行事の撮影(写真左)



環境整備委員会の文化祭のウエルカムフラワー(写真右)

[交通安全推進委員会]

相模原高校に通う生徒が安全に登下校できるように地区の交通安全デーに登校時交通指導を行っています。自転車で通学する生徒が多いので、生徒の自転車点検(全台)、空気入れの設置をしています。相模原地区内の高校との交通安全対策会議、県高 P 連の研修などに出席し情報交換も行っていきます。

[広報委員会]

県相の各行事などの撮影・取材を行い、生徒達の様子を広報誌として各家庭にお届けしています。

[環境整備委員会]

1年を通じた校内の花壇整備、年2回の校内美化活動を実施しています。

[成人教育委員会]

会員の学びや親睦・交流を図る機会を企画・提供しています。製作体験、観劇など会員相互の親睦をはかるだけでなく、体験教室で完成した作品は家庭への彩りを、観劇による感動が家族の会話を弾ませるきっかけになるように活動しています。

[学年委員会]

学年毎にクラス懇談会、進路説明会などを企画しています。保護者同士の交流・情報交換にも貢献しています。



成人教育委員会の企画には 30~70 数名が参加(写真左)

学年委員会は体育祭のダンス動画を上映(写真右)

3. 新たな取り組み

地区協議会で共有している他校の活動事例を取り入れたり、状況により活動を変化させるなど時代に合った活動の展開を実施しています。

- ・生徒との懇談会を実施(本部)
- ・自転車販売店マップの作成・配布(交通安全推進委員会)
- ・コロナ禍での相翼祭(文化部門)への参加方法の変更(令和4年度)



生徒と PTA 役員との懇談会



登校風景(写真左)

【県近近くの自転車屋さん】

相模 PTA 交通安全推進委員会
相模 PTA 交通安全推進委員会は、年 2 回の自転車点検を実施しています。
安全な車、ゆめいフレーム、ペダル、自転車等の調整をマップしてご紹介していますので、お目につく場合は、確認できるように、地図から 1km 以内(徒歩 20 分以内)の自転車屋さんを探して見てください。
日頃のメンテナンス、入塾時、卒業後の参考にしてください。

安全運転、自転車のメンテナンスを心がけましょう！



自転車販売店マップは新入生にも配布(写真右)

4. 『神奈川県まなびや基金』の活用

1) 『神奈川県まなびや基金』制度とは

県立学校などの教育環境整備を進めるには多額の財源を必要とすることから、その円滑な実施に向けて自主財源を確保し、教育環境整備の推進に活用するために2009年(平成 21 年)度に創設した制度。同窓会等の篤志家の方々など母校の教育環境の充実に対して高い関心を持った方などから寄附金を教育環境整備事業の財源として活用するもの。

2) 『神奈川県まなびや基金』の活用

- ・事業提案型は従来下限金額が決まっていたが、撤廃され、比較的少額の事業においても寄附を募集し、事業を実施できるようになった。
- ・事業提案型案件は募集期間内に金額が達成しない場合は当該指定校寄附として扱われるため、最終的には学校のために運用される。
- ・『ふるさとチョイス』で寄附ができる
- ・通常源泉徴収で納付している地方税を、お子様や母校のために使うことができる。
- ・税額控除の対象になる(年末調整での一部還付がある)
- ・他県に在住の卒業生や関係者からも母校に貢献ができる。

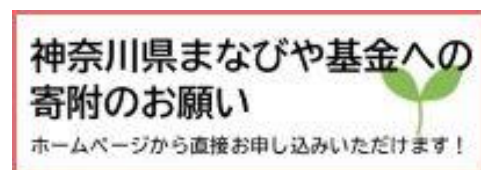
3) 事業提案型の内容

生徒や保護者へ事業案の募集を行い、その結果も含め総合的に判断しました。提案のあった事業案は学校側へ要望書として共有予定。

昨今は5月より猛暑となる傾向が強く、6月に開催されている相翼祭(体育部門)での熱中症リスクが高いため、日よけとなるテントや冷風機の購入を提案しました。

4) これからの展望

OB・OG(同窓会)、保護者へ呼びかけて寄附を募ります。周年記念式典でのチラシ配布やSNSを用いた拡散により寄附を募ります。



【 講 演 紹 介 】

演 題：『お金にまつわる笑撃的国際交流』

講 師：パッケンマッケン 氏

タレント

吉田眞とアメリカ・コロラド州出身のパトリック・ハーランが1997年に共通の知人の紹介で知り合い、パッケンマッケンを結成。

日米文化をネタにしたお笑いで人気を博し、現在もテレビやラジオ、イベントなど幅広いフィールドで活躍している。

■パッケン

本 名：パトリック・ハーラン

生年月日：1970年11月14日

出身地：アメリカ・コロラド州

趣 味：床体操、板飛込み、バレーボール、卓球

サイズ：身長184cm、体重76kg、B98・W80・H98

シューズ27.5cm

血液型：O型

略 歴：ハーバード大学比較宗教学部卒業、福井ブランド大使、
福井市観光大使、東京工業大学非常勤講師、
流通経済大学客員教授

■マッケン

本 名：吉田眞（よしだまこと）

生年月日：1973年3月26日

出身地：群馬県富岡市

趣 味：釣り、料理

サイズ：身長176cm、体重76kg、B89・W78・H90・シューズ26.5cm

血液型：AB型

略 歴：群馬県立吉井高等学校卒業、ぐんま観光特使、富岡ふるさと大使



※転載禁止

人生100年時代と言われるようになりましたが、将来に備えるという意味においても、早い時期から資産形成や運用の仕方を学んでおくことが必要となっています。

異国コンビのパイオニアとして親しまれているパッケンマッケン氏に、「お金を貯める」という日本人、「お金を育てる」というアメリカ人のお金に関する考え方の違いなど、お金にまつわる講演内容を楽しくわかりやすく解説いただきます。

当日限定で講演を拝聴する貴重な機会となりますので、是非ご参加ください。